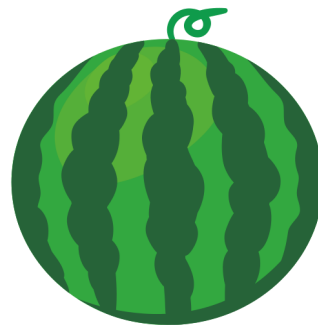
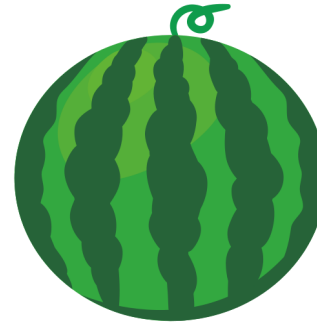
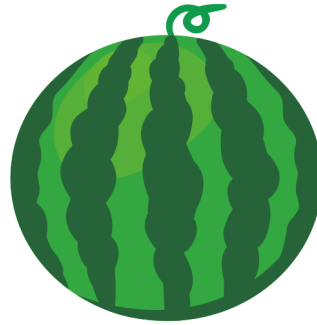
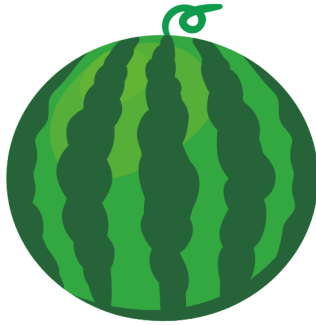


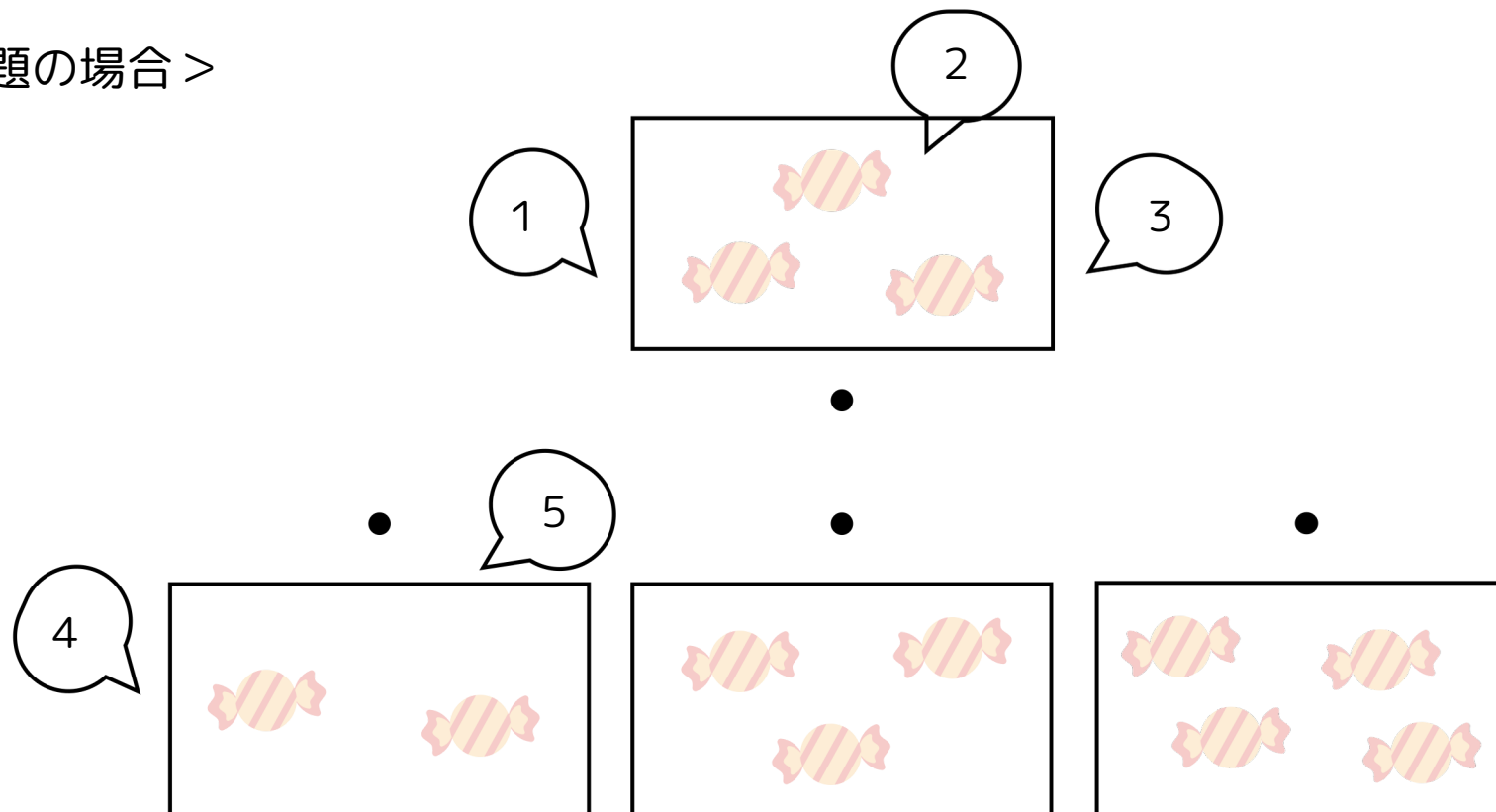
例題 スイカとメロンは、どちらが多いですか。
 多い方の果物を選んで、点線の下にある果物に丸をつけましょう。



ポイント解説 ～計算する～

数の加減や和差などの計算ができるかを問う問題で、いわゆる「たし算」や「ひき算」の計算問題です。しかし、小学校受験ではたし算やひき算を使わなくても、問題が解けるようになっているのがポイントです。例題では、下図のように「数え足し」で計算ができます。同様に、「数え引き」でひき算もできます。また、以前の問題（問題１１～問題１７）で扱っていたように、「一対一 対応」をさせることで差を求めることもできます。

< 例題の場合 >



問題31 点線の四角の中には、それぞれコインが10枚あります。しかし、色紙で何枚かのコインが隠れてしまいました。色紙の下に何枚のコインが隠れているかを考えて、隠れたコインの数と同じ数だけ下の四角に丸をかきましょう。

